

県 広 報

とやま

TOYAMA PREFECTURAL REPORT

特集/健康づくりを考え、手伝い、広める
～富山県国際健康プラザ(仮称)着工～





ひと とやま アズ

被災者の痛みがわかる消防士に

全国消防職員意見発表会最優秀受賞 鈴木 伸二さん

「私がこの意見発表会に出場しようと思ったのは、昨年七月に起きたある工場火災がきっかけなんです」と語るのは、六月十二日、京都で開催された第二十回全国消防職員意見発表会で最優秀賞を受賞した岩瀬消防署消防課の鈴木伸二さん。

論題は「被災者からのシグナル」。「現場に駆けつけたときは、もう建物は火に包まれていました。そんな危険な状況下で、工場の人たちが水道用のホースを使って懸命に火を消そうとしていたんです」。鈴木さんは、あとは自分たちに任せよう言いました。自分たちは一人の従業員。その人は私に「中の機械はどうしても守ってくれ」と叫びました。その後、ほかの部隊の応援もあり、工場内の機械に火が回る前に消し止めることができました。消火作業を終え、ホッとひと息つく鈴木さんが偶然耳にしたのは、焼け残った事務所での従業員たちの会話。火災直後に被災者の声を直に聞くのは初め

てでした。「全焼という最悪の事態は回避したものの、会話からは悲しく辛い様子がひしひしと伝わってきました。それまでは、漫然と火を消すことだけを考えていました。でも、被災者からのシグナルを敏感に察知し、心の痛みを感じながら気持ちを込めて消火にあたっこそ、真の消防士ではないかと思っただけです」。その時の決意を発表する鈴木さんのひと言ひと言が、審査員と約千人の聴衆たちの胸を打ったのは想像に難くありません。



▲県の救助大会で健闘を見せる岩瀬署員

「この仕事に就いて五年目を迎え、現場で自分だけのポジションでどんな行動を取ればいいのかつかめてきました」と語るその表情は、消防士としての誇りと自信にあふれています。高校時代は甲子園をめざし野球に明け暮れていたという鈴木さんは、現在も社会人チームで守りの要、キャッチャーとして活躍。将来は、災害から命と財産を守る消防士の要として活躍してくれることでしょう。

高原リゾートを心ゆくまで満喫

立山山麓家族旅行村

レポーター：堀口明美さん（富山国際大学）
（表紙の人）

とやま 遊学感

雄大な北アルプスと遠くに広がる富山平野、きらめく日本海を眺望できる立山山麓は、四季折々の自然を満喫しながらレクリエーションを存分に楽しめる県内でも屈指の高原リゾート地。今回、私はその中の一つ、立山山麓家族旅行村を訪れました。さっそく中村村長さんに村内を案内してもらいました。

ここでは、全部で二十棟の宿泊施設「ケビン」があります。ケビンにはバス、トイレ、キッチンなどが完備。また、隣接するキャンプ場には、炊事棟やシャワー棟などもあり、気軽にアウトドアライフを楽しむことができます。さて、キャンプといえば、やっぱりバーベキュー。ここでは、食材の販売から調理用具の貸し出しまで行っているため、煩わしい準備がいっさい不要です。バーベキューでおなががいっぱいになったら、近くの芝生広場やフィールドアスレチックで遊ぶもよし、テニスコートで汗を流すもよし。なかでも、私のお勧めはパークゴルフ。大きめのボールを木製のクラブで打つこのゲームは、子どもからお年寄りまで遊べることうけあい。また、鳥の声や木々が風にそよ音を聞きながら、随所に巡らされた遊歩道を散策するのも楽しいと思いますよ。

問合せ 立山山麓家族旅行村
0764-81-1748



▲誰でも手軽に楽しめるパークゴルフ



▶澄んだ空気のなかで遊歩道を散策



◀フィールドアスレチックで童心に



◀緑の中にたたずむケビン



8 CONTENTS

とやま遊学感 / 立山山麓家族旅行村	表紙
撮影 / 赤羽仁諭 (富山県写真家協会会員)	表2
ひとアズとやま / 全国消防職員意見発表会最優秀受賞 鈴木伸二さん	1
クロスアップ / 富山市大手町地区再開発事業起工式	2
② 富岩運河環境水公園開園式	
③ 富山県生活工学研究所竣工	4
特集 / 健康づくりを考え、手伝い、広める 富山県国際健康プラザ (仮称) 着工	8
PINUPPTOYAMA 写真 / 滝川邦彦 (富山県写真家協会会員) 詩 / 上木行博 (富山現代詩人会会員)	10
ふるさとみである記 (福野町)	
① スキヤキミーツザワールド	
② アイガモ農法 荒田清耕さん	
③ 福野町園芸植物園「フローラルパーク」	12
エッセイ / 鳴河みどり (ミライジュホールクルー運営委員長)	13
トピックス / 心の健康づくりへの提言相次ぐ (こころの健康ブランドバイザー会議)	14
県からのお知らせ / 暮らしのアドバイス	16
とやま水紀行 / 常虹の滝 (細入村)	表3

知・ズ・アツプ

複合型コンベンション施設が起工

富山市大手町地区再開発事業起工式（6月21日）



富山市大手町地区再開発事業の起工式が六月二十一日、同地区の富山保健所跡地で関係者約二百人が出席して行われました。

起工式では、施工者を代表して中沖知事、正橋富山市長、若狭全日空名誉会長がかま入れして、工事の安全を祈りました。続いて、起工記念式典が行われ、第三セクター富山大手町コンベンション社長の正橋市長が「市の中枢を担ってきたこの地が、今後は地方の拠点として発展しなければならぬ」とあいさつ。中沖知事は「この施設を核として都市の魅力が一層高まり、若者が集い賑わう街となることを願う」と祝辞を述べました。

この事業は、富山市の中心市街地である大手町地区に、会議、バンケット、宿泊機能が一体化した複合コンベンション施設を建設するもので、平成十一年夏の完成を予定しています。西地区には、地上四階、地下二階建てで八百二十人収容



▲複合型コンベンション完成予想図

水を生かした県民のオアシスが誕生

富岩運河環水公園開園式（7月1日）

県が富山駅北地区で「とやま都市MIRAI計画」のシンボルゾーンとして整備を進めてきた富岩運河環水公園が一部完成し、七月一日、現地で開園式が行われました。

式には、中沖知事、正橋



富山市長、同公園の設計者である仙田満東京工大教授ら関係者百三十人が出席。中沖知事が「水と緑を生かしたこの都市公園が、県民のオアシスとして親しまれるよう念願する」とあいさつ。続いて関係者

六名が滝起動のスイッチを押すと、高さ三メートル、幅四十七メートルにわたって水が勢いよく流れ落ち、それに合わせて奥田保育園の園児が風船を一齐に放ちました。公園面積九・七ヘクタールのうち今回完成したのは、野外劇場風の広場や滝、噴水で構成される「フロントデッキ」と、舟だまりの右岸に設けられた芝生スロープ「プロムナード」の合わせて一・一ヘクタール。今年度は、展望塔と歩道橋を組み合わせる「カナ



▲涼感あふれる人工滝（フロントデッキ）

「みずすましの会」のデモンストレーション

県・政・の・動・き

平成9年6月11日～平成9年7月10日

- 6月11日 青少年育成富山県民会議総会
- 6月12日 東海北陸ブロック老人福祉施設研究大会
- 6月16日 6月定例県議会（～27日）
- 6月21日 富山市大手町地区市街地再開発事業起工式
- 6月22日 622ヤング街頭キャンペーン
- 7月1日 夏の青少年をまもる運動街頭一斉啓発
- 7月7日 工業技術センター生活科学研究所竣工式
- 7月8日 第55回国民体育大会・第36回全国身体障害者スポーツ大会開催決定
男女雇用機会均等推進セミナー

ルブリッジ」の工事に着手し、平成十二年までに全面開園する予定です。公園の名称に用いられている「環水」とは、富山湾や日本海とのつながり、さらには地球規模の水の循環をイメージした言葉。水と人、そして街をひとつに結ぶ県民の新たな憩いの場の誕生です。

「衣住遊」製品開発の新拠点完成

富山県生活工学研究所竣工（7月7日）



福野町岩武新に建設が進められていた富山県生活工学研究所（愛称・ハイタツチセンター）が完成し、七月七日、同研究所で竣工式が行われました。

中沖知事、周戸中部通商産業局産業企画部長、溝口福野町長らがテープカットした後、産学官の代表者がくす玉を割って完成を祝いました。引き続き行われた式典では中沖知事が「生活者の視点に立った製品開発を支援する施設となるよう全力を尽くしたい」とあいさつ。式典終了後、施設見学会が行われ、出席者は係員の説明に熱心に耳を傾けていました。



第一地区新建築物建設



▲「若者が集う街に」と述べる中沖知事

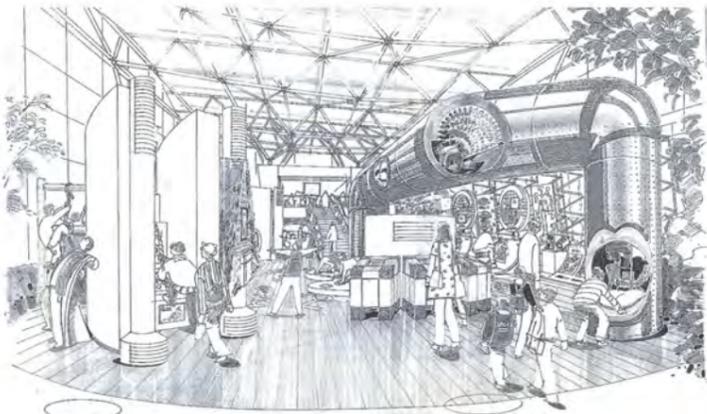


▲三つの棟が一体化した研究所の外観

同研究所は管理研究棟、生活科学棟、加工技術棟で構成。管理研究棟には生活関連製品、素材の研究開発等を行う各種試験室を配置。生活科学棟には、あらゆる極限環境を再現できる人工気象室や人間の運動力学の解析などを行うスポーツ科学試験室などがあります。また、加工技術棟には、繊維など生活関連製品の加工・試作を行う編織加工室、染色加工室などが設けられています。今後同研究所では、インテリア、スポーツ用品など生活関連製品全般を対象に、企業の高機能、高感度（ハイタッチ）製品の開発を技術面から支援していくことにしています。



栄養ゾーン
栄養ゾーンは、バランスの取れた食生活の重要性や身体各器官の役割などについて学習できるスペースです。
ここでは、パソコンを使って自分の食事の栄養バランスがチェックできるほか、消化器系器官に見立てた大型チューブの中を探索しながら、消化・吸収の仕組みが理解できます。



運動ゾーン
運動ゾーンは、実際に体を動かしながら、世代に応じた有効な運動を体験学習できるスペースです。
ここでは、パソコンや測定装置を用いて、運動不足度や体脂肪率、血圧などをチェックできるほか、循環器のしくみや脂肪の燃焼のしくみを、運動と関連づけて分かります。
さらに、体験コーナーとして「健康アルペンスルット」と称する運動の広場を設置。立山や五箇山の景勝地をモチーフにした遊具の中にあるさまざまな運動の要素を盛り込み、身体を動かすことの楽しさが体験できます。

伝統医学コーナー・情報センター



世界の伝統医学に関する展示や映像情報の提供のほか、自らの体質診断が行える「伝統医学コーナー」は、自ずと伝統医学への興味を抱かせてくれることでしょ。また、「情報センター」では、健康づくりに役立つ各種の情報を得ることができます。

健康づくりを考える

生命科学館

健康づくり。つまり、単に病気がないというだけでなく、日々の暮らしが周囲の環境までを含めた調和のとれた健康づくりを普及するのが狙いです。
生命科学館は、栄養・運動・休養の三つのゾーンと、伝統医学コーナー及び情報センターからなります。

健康づくりの大切さや健康的な生活習慣を身につけていくことの重要性を学ぶため、様々な展示を行うのが「生命科学館」です。
展示テーマは「いのちと暮らしの総合的に調和のとれた健康づくり」です。

運動ゾーン

また、たばこやアルコールが身体に及ぼす影響を人形やアニメーション映像で解説するコーナーなども設けま

休養ゾーン

休養ゾーンは、休養の大切さについて学ぶスペースです。
ここでは、パソコン装置を用いてストレス状態や身体疲労度をチェックできるほか、環境音楽や光に包まれたドーム空間で、眠りのメカニズムについて学んだり、実際にリラクセス体験したりできます。

また、嗅覚を通してリラックスできる「香りのスタンド」をはじめ、自然素材の楽器の音でリラックスができるコーナーも設けます。

【特集】
健康づくりを考え、手伝い、広める

富山県国際健康プラザ（仮称）着工



少子・高齢化が進み、生活習慣病の増加がみられる今日、病気を未然に防ぐための健康づくりが大切になっています。このようななか、健康づくりを考え、手伝い、そして広める新しい施設となる「富山県国際健康プラザ（仮称）」が、七月二十八日に着工しました。
この施設は、県民一人ひとりに合った健康づくりを提案する「健康づくりの中核基地」として、また、伝統医学を研究し、国内外に伝統医学の情報を発信する「伝統医学のメッカ」として、「日本の健康県」づくりの実現をめざすもので、平成十一年夏のオープンを予定しています。

国際健康プラザの施設構成

「国際健康プラザ」は、展示を通して健康づくりへの関心を深める「生命科学館」、県民一人ひとりにあった健康づくりを提案する「健康スタジアム」、伝統医学を健康づくりに役立てる研究とその支援を行う「国際伝統医学センター」の三つの施設からなります。
また、屋外健康づくり施設としてトリムコース、屋外プール、ハーブ・薬草園などを設けます。
以下、各々の施設の設置目的や概要について解説します。



富山県国際健康プラザ建設中
富山県総合運動公園
富山県・任海地内
(富山空港から約2km テクノホールから約500m)

この伝統医学に関する国際的なネットワークを広げながら、健康づくりに役立つための調査研究を進めるのが「国際伝統医学センター」です。現在、伝統医学に関する情報や資料の収集を行い、オープンに向けての準備を進めています。



▲アーユル・ヴェーダ
(シロー・ダーラー：油等を額にたらずマッサージ法)



▲中国医学
(上海中医药大学学生の気功の実演)



▲ユナニ医学
(シーラーズ(イラン)の薬種商)



▲チベット医学
(メディカルタンカ：チベット医学の聖典を図解した医学マンダラ)

県民が生涯を通じて健康であることは、幸せに生きる富山県の創造の基本条件です。そのためには、県民一人ひとりが、「自分の健康は自分で守りつくる」という意識のもと、積極的に健康づくりに取り組んでいく必要があります。

「国際健康プラザ」は、地域の健康関連施設や医療・研究機関、健康づくり団体とも連携して新しい健康づくりネットワークを構築し、皆さんの健康づくりへの取り組みを支援していきます。

問合せ 国際健康プラザ建設室

〒930 富山市安住町2-14

北日本スクエア4F

☎0764-44-9657

FAX 0764-44-9658

インターネットホームページ

<http://www.pref.toyama.jp/hpc/index.htm>

伝統医学を健康づくりに役立てる

国際伝統医学センター

伝統医学を再評価し、積極的に活用しようという動きが起こっています。

近代医学が発達する以前から存在し、現在も有効な治療法として活用されている医学を伝統医学といえます。近年、日本を含め世界各地で、近代医学を補完し、治療効果を高めるために、

五世紀初頭に日本に伝わり、漢方医学の起源となった中国医学、古代インドで体系化され、四千年の歴史を持つアーユルヴェーダ(インド医学)、そのアーユル・ヴェーダが仏教とともにチベットに伝わり、独自に発展してきたチベット医学、ギリシャの古代医学を基礎とし、イスラム文化の下で新たな発展を遂げたユナニ医学などは、現在でも広く実践されている代表的な伝統医学です。これらは、病気の治療法のみならず、病気を未然に防ぐための実践的な予防法を重視している点特徴です。

世界の伝統医学

伝統医学を役立てるために

伝統医学を科学的に評価し、積極的に活用することは、健康づくりを進めるうえでとても有益なことです。国際伝統医学センターでは、伝統医学に関する研究活動を支援するため、研究者等の人材情報、収集資料の情報などを、インターネットにより世界へ発信します。また、伝統医学の研究者の交流を支援するため、国際シンポジウムや伝統医学セミナーを開催するほか、伝統医学を健康づくりに活用するための調査研究に取り組みます。さらに、伝統医学や健康づくりに関する文献やビデオソフトを自由に閲覧できるようにする予定です。

健康づくりを お手伝いする 健康スタジアム

県民の皆さんが日常生活の生活のなかで気軽に健康づくりに取り組めるように、個々人の年代や健康状態に応じた健康づくりを提案し、それが家庭や職場、地域において継続的に実践され習慣化されるよう支援するのが「健康スタジアム」です。

健康づくりの実践指導

医師、健康運動指導士などの専門スタッフが、健康相談を踏まえ、個々人の健康状態に応じた健康づくりの体験や実践をお手伝いします。

健康スタジアムでは次の三つのコースを設ける予定です。

① 体験(エンジョイ)コース

このコースでは、気軽に楽しくできる様々な健康づくりの方法を試すことができ、その中から自分にあつたものが見つかります。

トリム運動、水中歩行、バーデ入浴などの標準プログラムの利用のほか、水中エアロビクス、ヨーガ、アロマセラピーなどの各種体験教室にも参加できます。

② 一般指導(マイプラン)コース

健康づくりを積極的・計画的に進めたい方への健康増進プログラムの提供と、その実践指導を行うコースです。

栄養・運動・休養面の問診や体力測定を行い、その評価に基づき健康増進プログラムを提供し、実践指導を行います。また、ライフスタイルに応じて、家庭や職場、地域の健康関連施設で行えるプログラムも提供していきます。

③ 総合指導(マンツーマン)コース

生活習慣の改善が必要な方へのトータルヘルスチェック



クや継続実践、効果測定からなる生活習慣病予防コースです(週一回、十三週)。

医学的検査を含めた総合的な健康測定を行い、その評価に基づいた健康増進プログラムを提供します。また、症状別ごとにカリキュラム化された栄養・運動・休養指導によって生活習慣の改善を図ります(イラスト参照)。

なお、生命科学館・健康スタジアムでは、県内全域にわたって広く健康づくり活動が展開されるように、人材育成や調査研究、情報提供、啓発普及などの幅広い事業を行う予定です。

八月の星空で
花火は燦爛^{さんらん}として胸ひらく
一瞬の命のはげしさ
咲き次ぐごとく
天空に噴きあげ
ごう音を響かせ
砕け はじけ
枝垂れる大輪の花となる
織りなす花しぶきになる
あの遠花火に思いを馳らせ
弾道弾のように
過去の闇を炸裂させたい
炎のように
魂を燃やしたい
生きていることの悦びを
華で飾るために

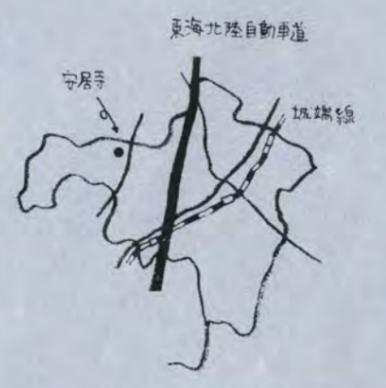
ふたつと
ふたつと
ふたつと

記

福野町

人口 / 14,955人
面積 / 31.71km²
(平成9年6月1日現在)

《福野町の概要》
春の宵を彩る勇壮な「夜高祭」や秋の「菊まつり」には、町内外から多くの人が訪れる。二七のつく日は朝市が立ち、年末の「歳の大市」は、三百年以上の伝統を持つ冬の風物詩となっている。
福野文化創造センターヘリオスでは、「君のアニメ主題歌がきたい！」をテーマに八月六日までアマチュアバンドを募集中。十月五日には、自由な発想でアレンジされたアニメ主題歌の数々が競演される。



▲熱演に会場のボルテージも最高潮

福野から世界へ 文化を発信

スキヤキ・ミーツ・ザ・ワールド

「スキヤキ・ミーツ・ザ・ワールド」が今年も八月二十二日から三日間、福野文化創造センター「ヘリオス」で開催される。

「スキヤキ」の名は、アメリカで「スキヤキソング」として大ヒットした坂本九さんの「上を向いて歩こう」にあやかり付けられました。福野から世界へ文化を発信したいという願いが込められているんですよ」と語るのは実行委員会会長の田中かず代さん。



▲田中かず代さん

このイベントは、世界の様々な国からアーティストを招き、音楽などを通じた交流を行うもので、今年で七回目を迎える。

「スキヤキは、福野の若者が魅力あるまちづくりを目指して始めたのですが、今後は町民の待ち焦がれるイベントへと育てていきたいですね」と意気込む田中さん。興味のある方は、この機会に、世界の文化に触れてみてはいかがでしょうか。



▲アーティストが自慢の料理を伝授

頑張れ！ 無農薬農業のパートナー

アイガモ農法 荒田清耕さん

小屋を勢い良く飛び出し、一列になって水田に向かったアイガモたちは、やがて稲の間を自在に泳ぎ、雑草をさかんにつぶんでいた。アイガモ農法を実践する荒田清耕さん宅の日常的な風景のひとつ。



▲水慣らしのため、ひなを水田へ



▲荒田清耕さん



「無農薬、有機農業を始めた時、最大の難点だったのが除草でした。当初は、手押し除草機と手作業でやっていたのですが、あまりの重労働に体調を崩したため、生態系を利用した除草法を考えました」と語る荒田さん。ドジョウ、カブトエビ、コイで実験した後、昭和六十年にアイガモによる除草法を確立。その後、この農法は全国に普及し、今や無農薬農業の代名詞となっている。

アイガモたちを「ガール」と呼び、わが子のようにかわいがる荒田さんは、アイガモを襲うイタチやカラス対策を次々に考案してきた。だが、根底に流れる思想は、自然へのやさしさ。「イタチと知恵比べはしますが、殺してまで退治しようとは思いません。大切な自然を壊さないために、無農薬農業をやっているんです」と荒田さん。

人間と自然、そして社会との関わりについて考え続ける荒田さんにとって、アイガモは大切なパートナーであり、先生でもあるのだ。

キク好きの町民が 待ち焦がれた植物園

福野町園芸植物園「フローラルパーク」

「キク科植物に関する情報の発信」をテーマに、今年六月にオープンしたのが福野町園芸植物園「フローラルパーク」だ。



▲石崎 力さん

「福野町は、電照ギクの生産地であり、「菊まつり」で知られています。この植物園は、そんなキク好きの町民の熱意で実現したものなんです」と語るのは、園長の石崎力さん。同園は、展示温室と展示園からなり、海外産のキク科植物や日本産野生ギクなど、百種類、約一万本を集めている。町の中心地にある同園は、町民の憩いの場、そして花と緑の活動拠点としても期待されている。入場料は無料。「一度来て、見て、終わりというのではなく、継続的な学習の場にしてほしいですね」と石崎さん。そんな願いから、同園では、植物を愛し、植物園をともに育てていくフローラルメイトを募集しているほか、園芸基礎講座なども開催している。



▲菊花弁の花壇



援などにも力を入れていきたいですね」と石崎さんの声にも熱がこもる。今年から菊まつりの会場にもなる同園は、まさにキク科植物のメッカとして、町民に親しまれ続けることだろう。



▲モダンな外観の展示温室

心の健康づくりへの提言相次ぐ

こころの健康プランアドバイザー会議

「こころの健康プランアドバイザー会議」が、7月4日都内のホテルで開かれ、県が策定を進めている『こころの健康プラン』や心の健康づくりに関する活発な意見交換が行われました。会議には、齋藤茂太さん（作家・日本精神病院協会名誉会長）、木崎さと子さん（作家）、早川東作さん（東京農工大助教授・予備校生活カウンセラー）、柳生博さん（俳優）の4名のアドバイザーと、県側からは中沖知事、押田厚生部長らが出席。以下、出席者の提言の一部を紹介します。



木崎さと子さん

富山県は、三世代同居が多いのだから、おじいちゃんやおばあちゃんのお助けを借りて、心の健康づくりを進めてみればどうでしょうか。また、心の健康づくりにはユーモアや笑いが欠かせませんが、ユーモアは特別なものではありません。何げない日常生活が一つの物語であり、その物語を方言の良さを生かしながら、家族や仲間と話し合うことが大切です。このほか、ユーモア小説コンクールを開く方法もあると思いますよ。



齋藤茂太さん

人間どうしのふれあいは挨拶から始まります。ところが、日本人は、心で思っているもなかなか口に出さないとこころがある。そこで、ありがとうを口にする「サンキュー運動」を行ってみたいかがでしょうか。また、「心の健康センター」が、親や兄弟には話せない心の悩みなどをいつでも打ち明けられる場となればいいですね。



早川東作さん

富山県に学校嫌いの子どもが話し相手になつたり、勉強を教えたりする「メンタルフレンド制」を普及していかかでしょうか。また、過食症、アルコール依存症などの人が集まり、お互いの体験を話しあえる場があれば、少しでも心を癒すことができるのではないかと思います。

会議では、これらのほかにも、心の健康について幅広い提言がなされました。県では今後、それらを参考にしながら、心の健康づくり施策を積極的に進めていくことにしています。



柳生 博さん

私が一年の三分の一を過ごす八ヶ岳山麓には、蜜の住む川があります。生きものがいきいきと住む川には、急流もあればよどみもあるんです。人の住む町にも、「急流」ばかりでなく、寄り道したり、ほっとしたりできるような言わば「よどみ」のような場所があれば、いきいきとした生活を送れるのではないでしようか。



ミラージュホール・クルー運営副委員長

鳴河みどり

『みやあらくもん』の音楽との遭遇

突然ロシア語を習い始めたこともあって、個人的に招聘したロシアの優秀な女性音楽院生（バイオリンスト）と、洗足学園の学生（トランペット）との国際交流コンサートは、大学の協力と仲間たちの応援で感動的な成功を収めた。折しも旧ソ連崩壊の時、一時は来日も危ぶまれた。やっと来日したものの、伴奏者のピアニストが流産の危険性のため治療しながらの薄氷を踏む思いでの公演であった。私には全くロシア語の知識がなく、そんな中での食事の世話からマネージャー・企画まで初めての経験だった。今まで運動系の趣味ばかりで、クラシック音楽にはあまり興味はなかったが、彼らを大学へ連れて行き、初めての練習を聴いて、胸が震えるようなカルチャー・ショックを覚えた。これが私の『音楽との遭遇』だった。

翌年の十一月に新川文化ホールがオープンするにあたり、中先生の協力のもと仲間たちで女性音楽鑑賞グループ「新川ミュージック・フラウエン」を設立し、年四回のコンサートを自主企画することになった。また、その後「ミラージュホール・クルー」「新川文化ホール振興協議会」と続けて設立され、今ではクラシックに首まですっかりはまっている状態である。

もともとクラシック・ファンである夫が、なぜか突然ロシア語を習い始めたこともあって、個人的に招聘したロシアの優秀な女性音楽院生（バイオリンスト）と、洗足学園の学生（トランペット）との国際交流コンサートは、大学の協力と仲間たちの応援で感動的な成功を収めた。折しも旧ソ連崩壊の時、一時は来日も危ぶまれた。やっと来日したものの、伴奏者のピアニストが流産の危険性のため治療しながらの薄氷を踏む思いでの公演であった。私には全くロシア語の知識がなく、そんな中での食事の世話からマネージャー・企画まで初めての経験だった。今まで運動系の趣味ばかりで、クラシック音楽にはあまり興味はなかったが、彼らを大学へ連れて行き、初めての練習を聴いて、胸が震えるようなカルチャー・ショックを覚えた。これが私の『音楽との遭遇』だった。

この素敵な仲間たちと、雄大な山々と美しい夕日が沈む海、きれいな空気と水、新鮮で美味しい魚と果物、素晴らしい環境の中で音楽との出会いがあった。それは五年前、洗足学園魚津短期大学にN響のコントラバス首席奏者であった中先生が着任されたことがきっかけである。

「生まれも育ちも東京」の私が、富山県魚津市へ移住して来たのが十二年前であった。若いときから好きな「山」と「雪」の恵まれた環境に、冬は当然スキーが堪能できると楽しみに待っていた。ところが、「雪」はこの地方の人々にとって、重くつらい「雪かき」の仕事があるから、スキーをするのは「みやあらくもん」と言われると聞いてがっかりした。

今まで、秋になると今年は何処へ行こうかと計画し、体力づくりをしながら「雪情報」を待ちながら仕事（勤務医）に励んでいたものだった。ふと周りをみると、男性（夫も含め）も女性も真面目に良く働き、節約家で教育熱心で、遊ぶことに罪悪感を感じる方々のなんとまあ多いこと……。そして特に女性は、夫に任せ（外見上？）、家庭を守り、自分の意思を強く表さないことを美德と思っているように見えた。そして私はといえば、元来「みやあらくもん」で、余暇どころか人生をいかに楽しく過ごすことができるかをいつも考えている人間なのである。と言う訳で、年齢的にも体力的にも限界のあるスキーは諦め、今まで時間の余裕がなくてあまり出来なかったゴルフに切り替えた。そして、ゴルフが中高年の女性にとっていかに健康的で楽しいものであるかを説得しながら、徐々に仲間を増やしていった。その結果、夫婦で同じ趣味を持つことになり、ゴルフは勿論のこと、パーティー、旅行と夫婦単位での交際の輪がひろまってきている。



県からのお知らせ

お知らせ

国体開催決定記念イベント

「2000年にGO!とやまスポーツフェスティバル」開催

7月8日(火)に2000年とやま国体の開催及び会期が正式に決定しました。そこで、第50回を記念する県民体育大会及び2巡目となる環日本海インターハイ親善交流大会の開催に併せて、国体開催気運の高揚を図るため国体開催決定記念イベント「2000年にGO!とやまスポーツフェスティバル」を開催します。

内容 ブラスバンド演奏・国体マスコットの愛称発表／表彰・白井貴子ミニコンサートほか
日時 8月8日(金) 午後6時～7時30分
場所 富山県新川文化ホール(大ホール)
入場 無料
問合せ 第55回国民体育大会富山県実行委員会
☎0764-44-9667

立山博物館イベント

●特別企画講演会「富山に恐竜がいた!」

「富山の化石」について、これまでの研究成果やこれからの研究の進め方など、いろいろな視点からお話をしてみたいです。(入場無料)
日時 8月9日(土) 午後2時～3時30分
場所 県民会館401号室

電話加入権の公売について

県では、必要に応じて、電話加入権を公売しています。買受を希望される方は、最寄りの県税事務所までお気軽にご相談ください。

募集

第40回自然公園大会標語募集

第40回自然公園大会が、来年8月、立山山麓で開催されます。自然を守り、人と自然との豊かなふれあいを推進するこの大会が、身近で親しみのあるものとなるような標語を募集します。
官製はがきに標語1点と、住所、氏名、年齢、性別、職業(学校名)、電話番号を記入のうえ応募ください。
募集期間 7月21日(月)～9月19日(金)〈当日消印有効〉
応募・問合せ 〒930-80 (住所記載不要) 県庁自然保護課内
☎0764-44-3106

みなさんの相談窓口

- 県政について
県民相談室 富山市新総曲輪1-7(県庁内)
☎(0764)31-4111(代) 31-3131(県民相談電話)
FAX 44-3300(県民相談ファックス)
- 高岡地方県民相談室 高岡市赤祖父211(総合庁舎内)
☎(0766)21-9411(代)
- 魚津地方県民相談室 魚津市新宿10-7(総合庁舎内)
☎(0765)24-5311(代)
- 砺波地方県民相談室 砺波市幸町1-7(総合庁舎内)
☎(0763)33-5151(代)
- 物価ダイヤル
物価に関する苦情や相談があればお気軽にお電話ください。
☎(0120)16-7400(県庁県民生活課内)
- 消費生活については
消費生活センター
富山市湊入船町6-7 サンフォルテ内
〈一般相談は〉☎(0764)32-9233
〈金融相談は〉☎(0764)33-3252
消費生活センター高岡支所
高岡市本丸町7-1 本丸会館内 ☎(0766)25-2777
- 交通事故については
富山県交通事故相談所東別館1階
☎(0764)31-4111 内4400
- 相談110番
家庭問題・悪質商法など、どんな相談にも応じます。
☎(0764)42-0110
- シルバー110番
高齢者や家族の心配ごと、悩みごとに富山県高齢者総合相談センター
富山市舟橋南町5-14 社会福祉会館内
☎(0764)41-4110
- よい子の育児電話相談
子育てに関して心配や悩みにお答えします。
☎(0764)33-4150(県庁生涯学習室内)

県からのホットニュース

- 見て、聞いて、ご意見をお寄せください。
- テレビ広報
■チューリップテレビ 毎週日曜日 PM5:15～5:30 「ふるさとトーク」
 - 富山テレビ 毎週日曜日 AM9:00～9:30 「112万人のひろばークイズ/フォーカス・イン」
 - 北日本放送 毎週日曜日 AM11:00～11:30 「こんにちは富山県です」
8/3 我がまちふるさと自慢 ～朝日町～
8/10 日本海を巡る輪
8/17 野生動物映像の祭典開幕!!
8/24 新たな魅力に彩られて ～富岩運河～
8/31 2000年へGo!
 - 北日本放送 毎週土曜日 AM9:30～9:45 県教育委員会 小さな手 大きな目「あしたの家族」
 - ラジオ放送
■FMとやま「ふれあいホットライン」
県内各地からホットな話題をおとどけます。
毎週月～金曜日 AM9:50～9:55
 - 新聞広報
■北日本、富山、読売、北陸中日、朝日、毎日 毎月第2、最終土曜日 「県からのお知らせ」

平成9年 9月 街頭献血日程

日曜日	献血場所	時間
7日	高岡サティ前	10:00～16:00
14日	魚津サンプラザ前	10:00～16:00
18日	入善町商工会館前	9:30～16:00
19日	城端町役場前	12:30～16:00
26日	小矢部市役所前	9:30～16:00

※都合により変更する場合がありますので、当日の新聞・テレビの街頭献血案内等でご確認ください。
●マリエとやま8階の献血ルームでは、月曜日を除く毎日(年末年始、マリエ休館日を除く)献血を受け付けています。
受付時間 全血献血 10:00～12:30 14:00～18:00
成分献血 10:00～12:00 14:00～17:30
●マリエ献血ルーム(TEL0764-45-4500)
血液センター(TEL0764-51-5555)

講師 後藤道治氏(富山科学文化センター主任学芸員)

●「稚児舞・舞楽 カタチで見る伝統と文化」

各地の稚児舞の所作や衣装、音曲などを比較し、山岳修験や日本海沿岸地域の文化の系譜を考えます(入場無料)。
参加団体 立山町岩崎寺稚児舞保存会
新潟県糸魚川市日吉神社稚児舞保存会
山形県寒河江市慈恩寺舞楽保存会
日時 8月23日(土) 午後6時～8時
場所 立山博物館眺望館前礎堂基壇(雨天時は眺望館)

●特別企画展

「富山に生息したいきものたち―日本海の歴史―」
立山山麓で発見された恐竜足印化石などを取り上げ、日本海ができる前から現在までの環境のうつりかわりについて考えます。特に、約1600万年前に、日本やサハリンなどに生息した奇獣パレオパラドキシアの全身骨格には、太古のロマンをかきたてられることでしょう。
会期 8月24日(日)まで
会場 立山博物館 企画展示室
入場料 一般100円 高・大学生80円 小・中学生50円
以上 問合せ 立山博物館 ☎0764-81-1216

プールで楽しいパフォーマンス

太閤山ランドプール広場では、楽しいストリートパフォーマンスを行います。皆さん、遊びに来ませんか。
日時 8月15日(金)～17日(日)
場所 太閤山ランド・プール広場
問合せ 県民公園太閤山ランド
☎0766-56-6116

「第4回Uターンフェア・イン・とやま」開催

県、ハローワーク(公共職業安定所)及び(社)富山県雇用対策協会では、県内企業にUターン就職を希望される方々

放送大学富山地域学習センター学生募集

放送大学では、平成9年10月から始まる平成9年度第2学期の学生を募集しています。
ビデオテープ・オーディオテープと印刷教材を使用した約300科目の中から、興味のあるものを選んで学習してみませんか。
対象 18歳以上
締切り 8月15日(金)
問合せ 放送大学富山地域学習センター
☎0766-56-9230

第48回富山県勤労者美術展出品作品募集

10月23日から10月26日まで富山県民会館において開催する第48回勤労者美術展の出品作品を募集します。
本展では、県内の勤労者の皆さんが自由時間を利用して制作された美術作品を一堂に展示します。
対象者 県内の勤労者であること。ただし、本美術展の該部門 日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真
当部門の作品の製作を職業としない方。

に、企業と直接面談できる場を提供するため、第4回Uターンフェア・イン・とやまを開催します。

日時 8月14日(木) 午前10時～午後3時
場所 テクノホール
参加企業 約100社(予定)
対象 県内企業へ就職を希望する在職者及び来春大学等卒業予定者
内容 ①企業の人事担当者等との個別面談による会社概要、人材需要等の説明
②ハローワーク職員等による職業相談、Uターン求職登録、職業能力開発についての相談
③住宅情報、教育情報、生活関連情報の提供
問合せ 最寄りのハローワークまたは県庁職業安定課
☎0764-44-4564

中央植物園企画展示 「未来に残したい植物展」

絶滅が心配される植物に焦点を当て、その保護について考える展示です。
日時 8月8日(金)～20日(水) 午前9時～午後5時
場所 中央植物園サンライツホール(入園料必要)
問合せ 富山県中央植物園 ☎0764-66-4187

「とやまマルチメディア祭'97」開催

最新の情報機器の展示やイベントを通じて、マルチメディアの普及を図るとともに、地域の情報化を進めるため、「とやまマルチメディア祭'97」を開催します。
開催期間 9月5日(金)～7日(日)
会場 富山県総合情報センター(各種イベント)
富山県総合情報センター(各種イベント)
問合せ とやまマルチメディア祭'97実行委員会事務局
☎0764-42-6161

出品制限 最近制作した未発表のもので、1人1部門につき1点とします。

作品展示 鑑査の結果、入選した作品のみを展示
申込方法 申込書(有名画材・カメラ店等に用意)に必要事項を記入のうえ申込み(搬入日は別途指定)
申込締切 10月9日(木) 必着
問合せ 県庁労政課
☎0764-44-3256

改訂発売

災害への備えを忘れずに

8月30日から9月5日までの一週間は防災週間です。災害を未然に防止し、被害を最小限に食い止めるためには、災害に対する日頃からの備えが大切です。避難場所や非常持出品等を確認するとともに、各地域での防災訓練等へは積極的に参加しましょう。
問合せ 県庁消防防災課
☎0764-44-3187

注文した覚えのないビデオテープが代金引換郵便で



Q 夫あてに代金引換郵便が届いたので、一万円を支払って受け取りました。帰宅した夫が開封したら、注文した覚えのない成人向けビデオでした。業者の住所は記載してあったのでビデオはすぐに送り返しましたが、支払った一万円は返してもらえないのでしょうか？

A 代金引換郵便を受け取ってしまった場合でも、郵便局が業者に送金する前であれば郵便物の受取を拒否し、返金してもらうことができます。しかし、開封してしまったり、業者に送金済であったりしたものについては郵便局では返金してもらえません。

この相談の場合は、既に郵便局から業者に送金されていたため、支払済の一万円を返金するように書いた書面を業者あてに送付するよう助言したところ、その後業者から返金され、解決しました。

しかしこのような事例の場合、業者の住所も電話番号も不明だったり、でたらめだったりすることが多く、一度支払ってしまったお金が返金されることはほとんどありません。

代金引換郵便のトラブルを防止するため、郵政省では、①差出人には、郵便小包ラベルに内容、受取人及び差出人の電話番号を記入してもらう ②郵便局は、配達する前に受取人に電話で確認をとる ③配達の際、受取人に注文品であることを確認したうえで受け取るよう説明する 等の努力をしています。円滑な実施は難しいようです。

私たち消費者の方も、家族に送られてきたものについては、本人に確認してもらったうえで受け取るよう心がけましょう。

相談は、県消費生活センター、電話0764(32)92333、高岡支所、電話0766(25)2777

編集後記

★消防士は火を消して当たり前。被災者の痛みを察しなければ：と鈴木さんはいう。てきぱきした行動と、はきはきした口調。好青年を絵に描いたような人柄に感動すら覚えた。こんな人に火を消してもらえたら本望：というの少し言い過ぎ？(M・K)

★小さい頃、流しそうめんを食べに連れていってもらった。わくわくしながら、流れてくるそうめんを待つ。「来た来た。」しかし、すぐおとするがはしが上手に使えないうえに水の流りが速くなかなかうまくいかない。「そうめんがすすくえない、おなかがかくれぬい。」不満が高まってきた頃、お店の人が「終わりましたよ」と一言。釈然としない流しそうめんの思い出。(M・I)

★田中かず代さんは、初回から「スキヤキ」に関わり、今年実行委員会会長に就任した。行政のイベントでは気難しそうなお年寄りが実行委員長というケースが多いが、田中さんは本編写真のとおり若くて、おまけにめちゃ元気。それにスタッフも二、三十代がほとんどで、若者の意見が即イベントに反映するシステムになっている。スキヤキが年々輝きを増していくのには、やっぱり訳があった。(Y・I)

今月号で掲載したPIN UP TOYAMAの写真
を抽選で5名の方にワイド六ツ切(25×18
センチ)でプレゼントします。希望される
方は、官製ハガキで下記の様式でお申し込
みください。平成9年9月24日消印有効です。

氏名	富山県広報課
住所	写真プレゼント
年齢	8月号係あて
電話	
本誌を読んだ感想	

とやま 水紀行

白布に揺らぐ鮮やかな虹

常虹の滝(細入村)



細入村猪谷を流れる猪谷川が神通川にそそぐ手前に美しい滝がある。国道四十一号線が岐阜県境にさしかかる手前を西に約二百メートル山道に入ると、轟音とともにいくすじもの滝が現れる。これらを総称して「常虹の滝」という。

滝見台から見て右にあるのが「蛇歯見の滝」。幅、七メートル、落差は三十五メートルもあり、断崖絶壁から大量の水がまっすぐ滝壺に向かって流れ落ちていく。正面には二筋になって流れる「夫婦滝」があり、その上段には「大滝」がわずかに見える。大滝の断崖には不動明王像が刻まれており、別名「不動滝」とも呼ばれている。

さて、「常虹」と言う名は、昭和の初めにこの地を訪れた富山市出身の代議士、高見之通氏が、滝にかかる虹の美しさに歓喜し名付けたもの。晴れた日の早朝、蛇歯見の滝にはしばしば当時と変わらない鮮やかな虹がかかる。

村には、大蛇が神となって空に登った後、これらの滝が現れたという言い伝えがあったため、この地は畏れられ、村人はほとんど滝に近づくとはなかった。しかし、明治末期この景観に魅せられた人々により道がつくられ、容易に滝が望めるようになったのである。

現在、常虹の滝の周辺は神通峡県定公園の一部となっている。夏の観光シーズンともなると流しそうめんの店も出され、涼を求めて多くの人々が訪れる。

大自然のドラマが感動を呼ぶ!

～ジャパン・ワイルドライフ・フェスティバル '97 開催～

ジャパン・ワイルドライフ・フェスティバル (JWF) は、イギリスの「ワイルドスクリーン」、アメリカの「ジャクソンホール・ワイルドライフ・フィルム・フェスティバル」とともに、世界三大野生動物映像祭の一つに数えられています。

平成5年から隔年で開催されてきたこの映像祭も今年で3回目。今回の公募には、世界29か国から367作品が寄せられています。

本フェスティバルでは、このなかから選りすぐられたグランプリノミネート作品や、他の映像祭 (イギリス、アメリカ) のグランプリ作品など25本を無料で一般公開。また、素潜りの元世界記録保持者ジャック・マイヨール氏が、映像を上映しながらイルカと海への愛情を語るほか、映画監督、羽仁進氏の動物セミナー、UNEP世界環境写真展など多彩なイベントも開催予定。皆さん、どうぞご来場ください。



▲ジャック・マイヨール



▲坂田 明

日時・場所

★映像上映会

(JWFグランプリノミネート作品等を上映 入場無料)

8月21日(木)～24日(日) 10:00～18:00

★前夜祭 (坂田明コンサート 入場料 3,000円)

8月20日(水) 18:00～

★UNEP世界環境写真展 (大人500円 大高生400円 中小生300円)

8月12日(火)～24日(日) 10:00～18:30

会 場/富山市民プラザ 24日(日)には、グランプリ発表、表彰式があります。

サテライト会場/高岡市美術館 黒部市吉田科学館 (期間中は映像上映会ほかを開催)

問 合 せ/ジャパン・ワイルドライフ・フェスティバル実行委員会 ☎ 0764(41)2144

ボランティアスタッフを募集します。

JWFは多くのボランティアにより運営されます。内容は、会場案内やセミナー・シンポジウム運営、映像機器周辺作業など様々です。あなたもJWFのスタッフになりませんか?

お問い合わせは、JWF実行委員会事務局まで



▲羽仁 進